



## 学校アンケート中間報告



## R6の横地っ子は…

7月の「教育活動に関するアンケート」には、たくさんの保護者の方に御回答をいただきました。御多用の中、御協力ありがとうございました。子どもたちのアンケートと保護者の方のアンケートの結果から、横地小学校の今を捉え、今後の教育活動に生かすとともに、子どもたちに還元していきたいと思えます。

単位：%

	アンケート項目	目標 数値 (児童)	児童 ( )は強肯定Aの数値		保護者
			5月	7月	7月
1	学校が楽しい。	90	98.0(83.3)	98.0(88.2)	97.6
2	みんなで何かをするのは楽しい。		98.0(94.1)	100(93.1)	96.3
3	授業に主体的に取り組んでいる。		100(80.4)	100(85.3)	93.8
4	授業がよくわかる。		98.1(70.6)	97.0(72.5)	86.4
5	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。		96.0(78.4)	99.0(83.3)	88.8
6	目標に向かってやり抜くことができる。		100(89.2)	99.1(87.3)	95.0
7	地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある。		100(80.4)	99.0(83.3)	77.8
8	学校に信頼することのできる先生がいる。		100(93.1)	99.0(94.1)	95.0
9	自分にはよいところがある。		100(96.1)	100(98.0)	92.6
10	友達のよいところを見つけている。		100(100)	100(99.0)	95.0

(1~8は、菊川市で統一された質問項目)

児童アンケートでは、全ての項目において、目標としている数値を大きく上回る結果となりました。5月と7月の評価を比較すると、肯定的な評価はほぼ横ばいですが、強肯定のA評価に着目すると、伸びが見られるのが分かります。特に、項目1,3,5,7においては、強肯定の伸びが大きく、学級の友達と一緒に学習に前向きに取り組み、学校生活を楽しんでいる様子がうかがえます。

保護者アンケートでも、大部分の項目において肯定的な評価が大きな割合を占めています。各御家庭で、子どもたちの学校でのがんばりを認め、応援したり励ましたりしてくださっていることが伝わってきます。御家庭での温かな支えが、学校でのがんばりにつながっているのだと感じます。

項目7については、児童と保護者の評価で大きな差が見られますが、学校では、「みんなにとっての地域や社会とは、クラスや学校のことだよ。」と補足の説明をしています。高学年の子どもたちは、委員会活動をはじめ、なかよし班のリーダーとして、下学年のみんなを引っ張る頼もしい姿を見せてくれました。低学年の子どもたちは、昼休みに進んで掃除をしたり、係活動を工夫したりと、自分たちで学級や学校をよりよくしていこうと活動しました。

2学期は、「助け合う」「高め合う」姿を目指して教育活動を進めていきます。「~し合う」ためには、友達との積極的で温かなかわりが求められます。「みんな」を意識し、「みんな」で伸びる横地っ子に成長するよう、全職員でサポートしていきます。



## 子どもたちの声（アンケートより） ※一部抜粋

\*学校が楽しい理由  
◎目標に向かって努力したこと  
☆自分のよいところ



## 家庭や保護者に関する項目

単位:%

	アンケート項目	保護者(7月)
1	横地小は家庭に学校の様子を伝えている。	96.8
2	家族で毎朝「おはよう」の挨拶をしている。	100
3	子どもの家庭学習を見届けている。	83.8
4	子どもは、家庭でiPadのきまり(学習のこと以外には使用しない)を守っている。	89.8
5	保護者も、優しい言葉遣いをしている。	69.8
6	家庭では、早寝・早起き・朝ごはんを大切にしている。	87.3

家庭でも、朝のあいさつを大切にしてくださっていることや、学校の情報や様子をキャッチしてくださっていることが分かりました。言葉遣いについては、課題を感じる結果となりました。私たちが日々使う言葉には大きな力があることを今一度、学校、家庭の両方で考えていく必要があります。学校と家庭が同一步調で子どもとかわることは、よりよい学びや成長につながります。今後も、学校と家庭で手を取り合って協力できる体制をつくっていきたいと思います。

## 保護者の声（アンケートより） ※一部抜粋



学校では、保護者の声も大切に、教育活動を進めていきます。貴重な御意見として受け止め、よりよい方法について検討を重ねて参ります。